

# 「保険で良い歯科医療」署名にご協力を



「保険で良い歯科医療を」全国連絡会

会長 雨松真希人(歯科技工士)

広がる貧困と格差のもと、国民は健康で文化的な生活のため歯科医療を必要とし、信頼し、月々の保険料を何とか工面して納めています。

しかし、「高い窓口負担」は患者さんを歯科医療から遠ざけ、早期発・見早期治療を妨げています。「保険が効かない」高額な治療は、選択できる患者さんは限られます。そして、患者さんを選ぶことにも繋がりがねません。

また、「歯科医療費」が異常に低く据え置かれ続けていることで、歯科医師だけでなく歯科衛生士、歯科技工士は生き残りのために悪条件を受入れ、歯科医療の現場は疲弊しています。

安心できる歯科医療のために「保険でより良い歯科医療を」の運

動が今ほど重要な時はありません。窓口負担の軽減、保険の効く範囲の拡大は国民の願いです。良質な歯科医療を提供する費用の拡充は歯科医療従事者の願いです。

国民、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の皆さんと共に運動を推進していく事により、低診療報酬により悪化した歯科医療機関の経営の安定、技工技術等の適正な評価へとつなげたいと考えています。

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会では、2018年度の診療報酬改定、保険で良い歯科医療の実現にむけて、50万筆を目標に歯科国会議員署名に取り組むことを決定しました。

この歯科署名は、2007年以降、総計143万筆超を集約し、のべ271人の衆参国会議員の紹介で国会へ提出するなど、歯科単体としては最大規模の患者署名を続けてきました。請願は、いずれも厚生労働委員会で審議未了でしたが、診療報酬の改善、保険給付の一部拡大などを勝ち取りました。

保険で良い歯科医療の実現のため、ぜひ皆様のご協力を心よりお願いいたします。